

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 8 月 27 日 (2015.8.27)

【公開番号】特開 2014-75575 (P2014-75575A)

【公開日】平成 26 年 4 月 24 日 (2014.4.24)

【年通号数】公開・登録公報 2014-021

【出願番号】特願 2013-162536 (P2013-162536)

【国際特許分類】

H 0 1 L 21/027 (2006.01)

G 0 3 F 7/30 (2006.01)

B 0 5 C 11/08 (2006.01)

B 0 5 C 11/10 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 21/30 5 6 9 E

G 0 3 F 7/30 5 0 1

B 0 5 C 11/08

B 0 5 C 11/10

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 7 月 8 日 (2015.7.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 8】

請求項 2 に記載の現像処理装置において、

上記第 1 の排出手段及び第 2 の排出手段は現像液用ポンプと現像液用開閉弁とで構成され、

上記第 1 の現像液排出管路又は上記第 2 の現像液排出管路の一方に介設されている上記現像液用ポンプが駆動し上記現像液用開閉弁が開いている場合には、上記第 1 の現像液排出管路又は上記第 2 の現像液排出管路の他方に介設されている上記現像液用ポンプの駆動が停止し上記現像液用開閉弁が閉じることを特徴とする現像処理装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

また、請求項 1 に記載の発明において、上記第 1 の現像液排出管路及び第 2 の現像液排出管路には現像液用ポンプ及び現像液用開閉弁が介設され、上記第 1 の現像液排出管路又は上記第 2 の現像液排出管路の一方に介設されている上記現像液用ポンプが駆動し上記現像液用開閉弁が開いている場合には、上記第 1 の現像液排出管路又は上記第 2 の現像液排出管路の他方に介設されている上記現像液用ポンプの駆動が停止し上記現像液用開閉弁が閉じることが好ましい（請求項 7）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 5 】

また、請求項 2 に記載の発明において、上記第 1 の排出手段及び第 2 の排出手段は現像液用ポンプと現像液用開閉弁とで構成され、上記第 1 の現像液排出管路又は上記第 2 の現像液排出管路の一方に介設されている上記現像液用ポンプが駆動し上記現像液用開閉弁が開いている場合には、上記第 1 の現像液排出管路又は上記第 2 の現像液排出管路の他方に介設されている上記現像液用ポンプの駆動が停止し上記現像液用開閉弁が閉じることが好ましい（請求項 8 ）。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 6 】

請求項 1 ないし 8 のいずれかに記載の発明において、上記基板保持部に保持された基板の表面に対して上記ポジ型レジスト用の洗浄液を供給するポジ型洗浄液供給ノズルと、上記基板保持部に保持された基板の表面に対して上記ネガ型レジスト用の洗浄液を供給するネガ型洗浄液供給ノズルと、上記基板の回転に伴って飛散する上記洗浄液を回収する上記カップ体によって回収された上記洗浄液を排出させる洗浄液排出管路とを備え、上記洗浄液排出管路は上記カップ体に接続されていることが好ましい（請求項 9 ）。この場合においては、上記カップ体と接続されている上記第 1 の現像液排出管路の接続部と第 2 の現像液排出管路の接続部とが上方向に迂回するように形成されていることが好ましい（請求項 1 0 ）。また、上記カップ体に洗浄液を供給する洗浄液供給ノズルが設けられ、該洗浄液供給ノズルから供給される洗浄液が上記カップ体に貯留するように上記カップ体を形成することがさらに好ましい（請求項 1 1 ）。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 1 1 】

次に、支持ピン 1 3 が下降して支持ピン 1 3 によって支持されたウエハ W をスピンドル 4 0 上に載置して、次のネガ現像処理が開始される（S 2 7、図 1 8（g）参照）。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 1 7 】

次に、支持ピン 1 3 が下降して支持ピン 1 3 によって支持されたウエハ W をスピンドル 4 0 上に載置して、次のネガ現像処理が開始される（S 2 7、図 1 9（h）参照）。